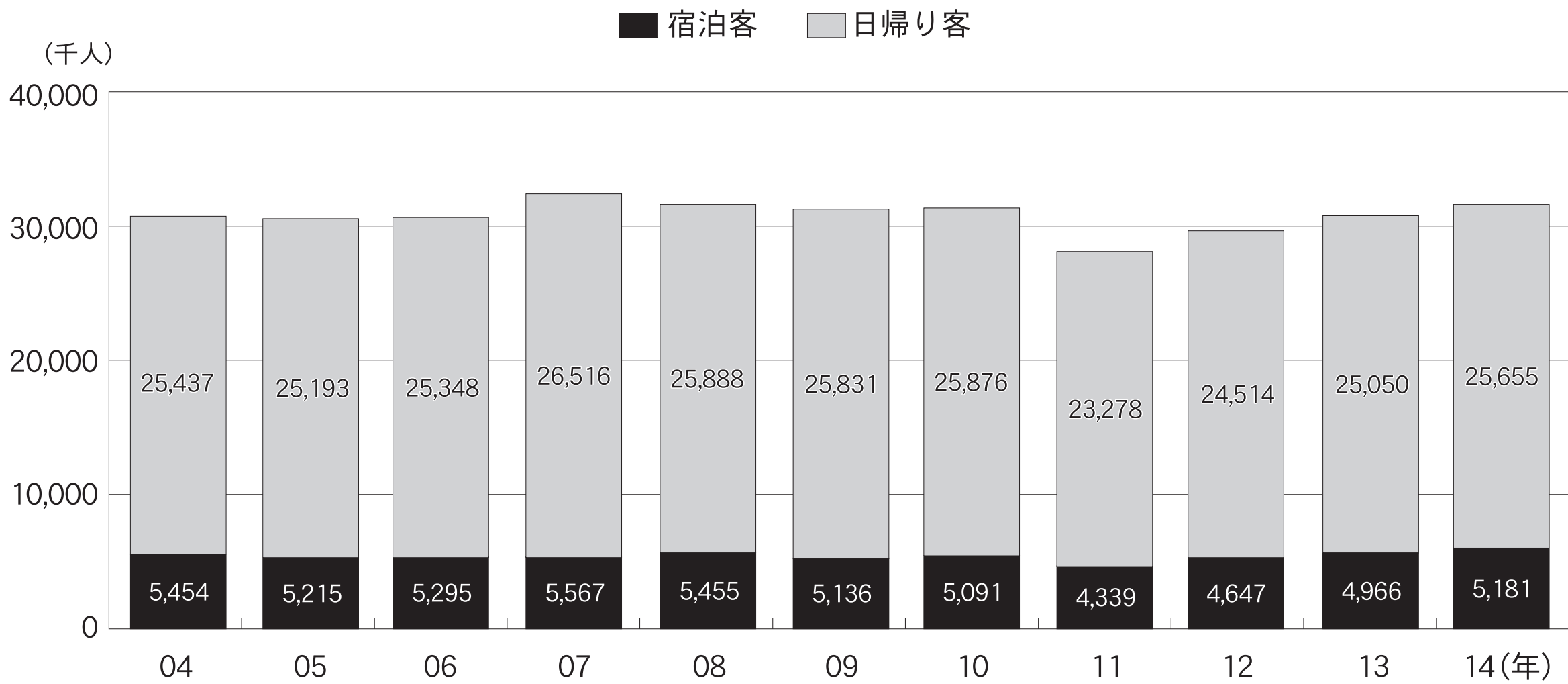


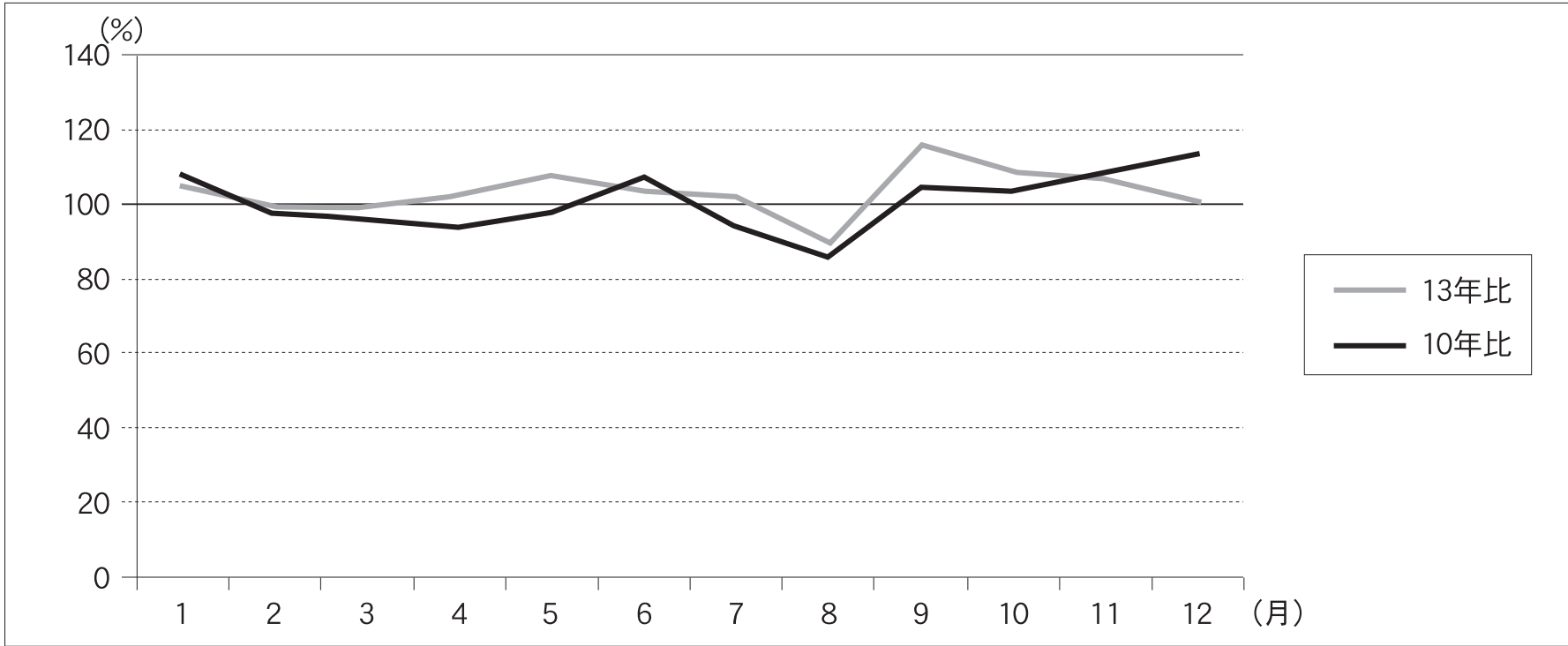
宿泊客4年ぶり500万人台に回復

2014年 和歌山県観光客動態調査結果(速報)

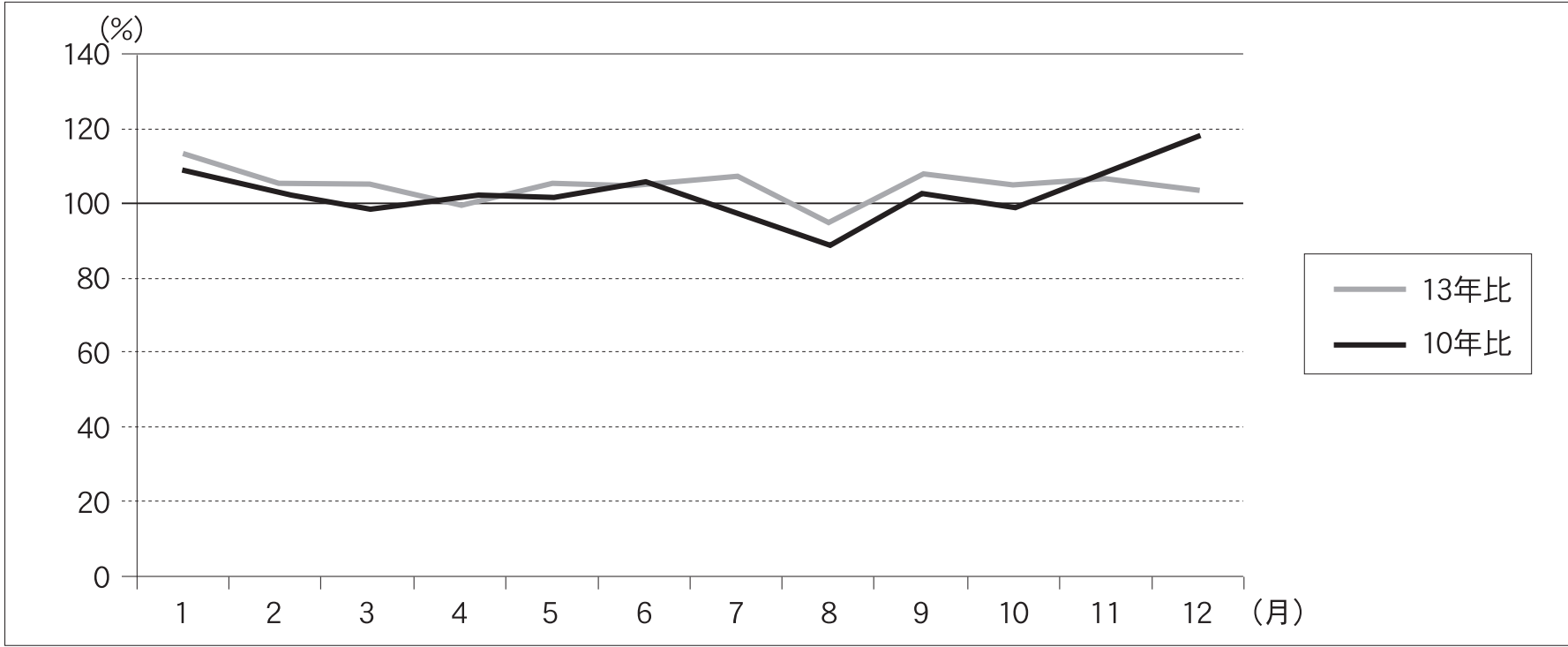
入り込み客総数は前年比80万人超の増加



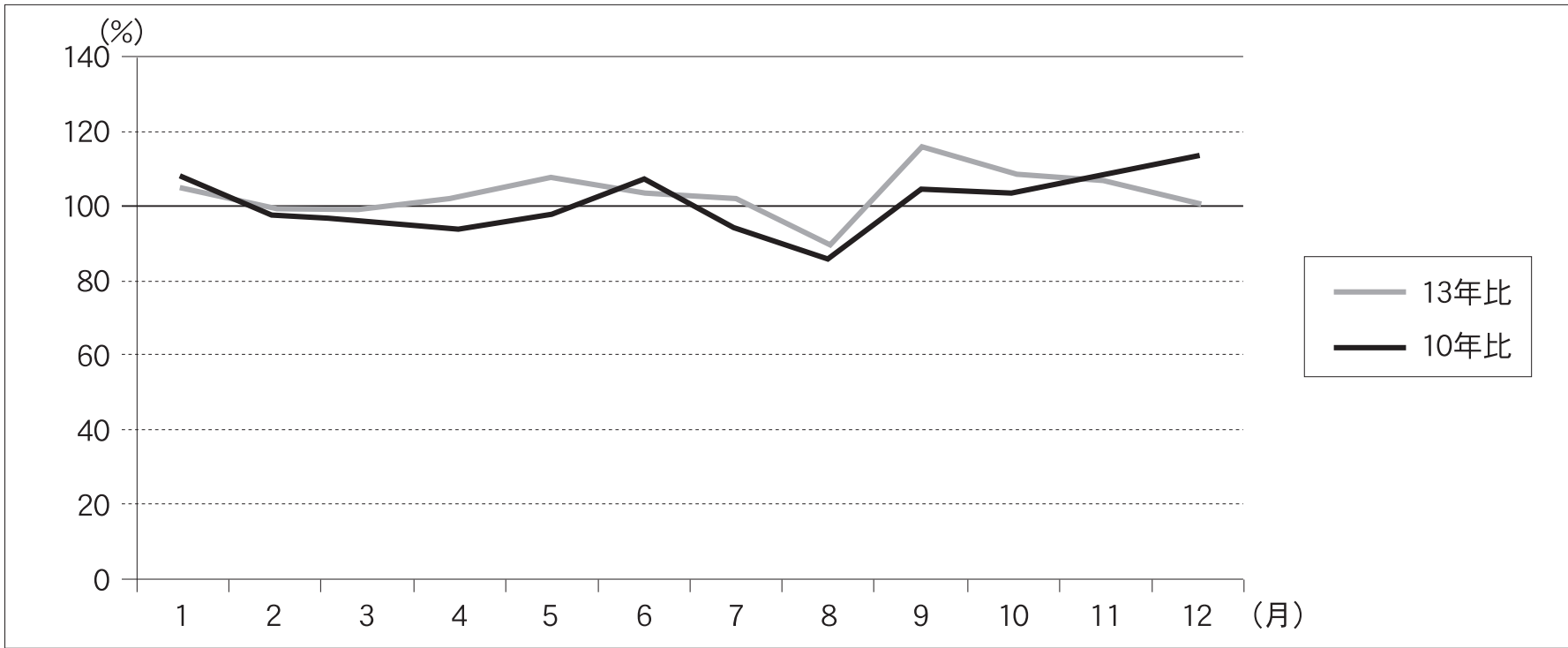
◎月別推移比較表・総数



◎月別推移比較表・宿泊客



◎月別推移比較表・日帰り客



和歌山県観光振興課によると、昨年1年間(2014年1～12月)の同県への入り込み客数(速報)は約3083万6千人で、前年から80万人超の増加(2・7%増)となった。このうち宿泊客数は同4・3%増の約518万1千人で、東日本大震災、紀伊半島大水害前の2010年以来、4年ぶりに500万人台に回復した。日帰り客も同2・4%増の約2565万5千人と増加した。

ゴールデンウィークと夏季の低調を「和歌山

デスティネーション・キャンペーン」(DC)で盛り返す格好となった。

ゴールデンウィークは日並びの悪さに加え、天候にも恵まれず、入り込みが伸び悩み。繁忙期の8月は、週末ごとに台風11号、12号が連続して襲来するなど、天候不順の影響を受け、観光客が全体的に大幅に減少した。

ただ、9月から12月にかけては、和歌山DCによる全国に向けた情報発信の強化と県内各地で実施した特別企画などの効果で前年同期に比

べ観光客数が増加。10月の相次ぐ台風や年末の寒波の影響を受けながらも、前年を上回る数字となった。

主要観光地での入り込み客総数は、和歌山市、高野町、田辺市龍神村・本宮町、旧串本町で前年総数を上回った。那智勝浦町では、前年秋季に「伊勢から熊野キャンペーン」効果で大幅に増加した前年の入り込み客数をほぼ維持。ただ、旧白浜町は8月の低調が影響して1・3%減少した。

調査データ